



いずみ野

令和2年1月31日
横浜市立いずみ野小学校

「ピンクシャツデー」

2月26日

副校長 中村 好宏

常日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、「ピンクシャツデー」という取組をご存知でしょうか。毎年2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」として、その日、ピンク色のシャツを着たり、ピンク色の何かを身に付けたりして、いじめをなくすことをアピールします。

それには、こんな経緯がありました。2007年、カナダのノバスコシア州のあるハイスクールでのことです。ある日、ピンクのシャツを着てきた9年生（日本でいう中学3年生）の男子が、シャツの色をからかわれて、いじめにあい、学校から帰ってしまったそうです。

そしてその日、その話を聞きつけた12年生（高校3年生）の男子2人が、自分たちでピンクのシャツを75着用意し、明日みんなでピンクシャツを着て行こう、と友達に呼びかけました。呼びかけはあっという間に広がり、翌日には大多数の生徒がピンクシャツを着たり、シャツがなければピンクの何かを身に付けたりして登校したそうです。当然、いじめをした生徒も反省し、それからはそのハイスクールではいじめがなくなったそうです。

この運動が、カナダ全体のみならず、世界各地にも広がり、「ピンクシャツデー」として、定着していききました。

私自身が、知人からこの運動を教えてもらったのが、6年前でした。当時の勤務校でその日にピンクのワイシャツを着て、ピンクのネクタイをし

めました。

以来、2月の最終水曜日になると同じような格好をして、話せる機会があれば子供たちにこのことを伝えてきました。



そして、一昨年、教育委員会からもポスターが届き、街の中でもイベントが多数催され、今まで以上に周知されました。

（←今年度も校内で掲示しています。）

しかし、私自身は、この取組が単なるイベントになってはいけないと思っています。

昨今、いろいろなことがイベントになり、ただ楽しむだけになってしまうことが多いように思えてなりません。その意味を深く知る、考えることなく盛り上がり、それでおしまい状態です。

ピンクのシャツを着ることやピンクの何かを身に付けることが目的ではありません。この日をきっかけにして、『いじめをしない、させない、許さない』ことを見つめていけたら、と思っています。

みんなで考えていきましょう。自分が気を付けていけるか、自分が気付けるか、よくないことはよくない、と言い出せるか、友達や仲間、家族と共に話し合ってみませんか。

「いじめストップ!」

